

電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

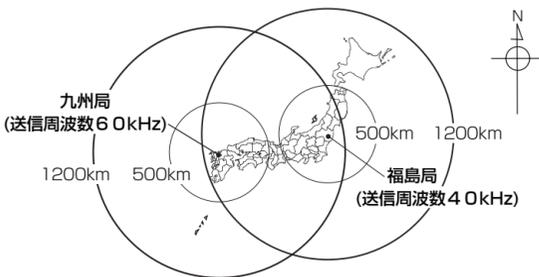
標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)

受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



○この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

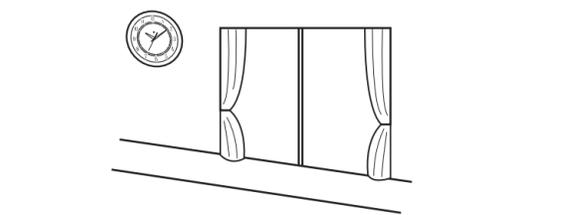
○日本以外の標準電波は受信できません。海外で利用した場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能を停止させていただきます。「9. 電波受信機能のON/OFF操作」参照。

○送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まる場合があります。

ご使用場所について

電波の受信しやすいところでご使用ください。

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。



このほかの使用場所の条件などは、「ご使用場所の注意」をお読みください。

電波を受信しにくい環境について

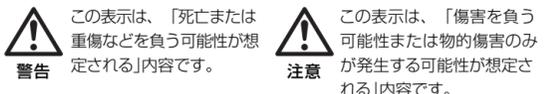
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。



ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

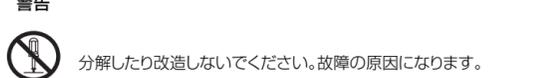
表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)



小さな部品は、幼児の手の届かぬ所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。



●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。

●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

●電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。

●+ (プラス)、- (マイナス) を逆に入れてください。

●指定された新しい電池を使用してください。

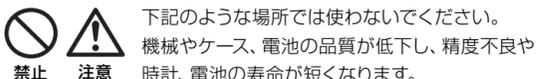
●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。

●使い切った電池は速やかに取り出してください。

●長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。

●電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

ご使用場所の注意



●温度が+50℃ (50度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。

●温度が-10℃ (氷点下10度) 以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)

●浴室など、湿気の多い所。

●ほこりが多く発生する所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる場合があります。)

●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。)

●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。

●温泉場など、ガスの発生する所。

●多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)

●プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

●汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●時計を掛けたとき、静電気により時計および壁が汚れることがありますので定期的に掃除をしてください。

9. 電波受信機能のON/OFF操作

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。

この場合、時間精度はクォーツ精度となります。

■電波受信機能を「OFF」にするには(停止するには) 強制受信ボタンを押し、その後、受信表示ランプの点灯に合わせ、強制受信ボタンをおよそ1秒間隔で3回押します。

ボタンを押すタイミングによっては、「OFF」に切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

強制受信ボタン 押す 押す 押す 押す
受信表示ランプ ←点灯↑ ←点灯↓ ←点灯↑ ←点灯しない

※電波受信機能が「OFF」のとき、強制受信ボタンを押すと、針が早送りで動いたり、止まったりしてから、時刻を表示します。

■電波受信機能を「ON」にするには(開始するには) 先に時刻合わせボタンを押しながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、強制受信ボタンを押して受信を開始します。

時刻合わせボタン 押しつづける……離す
強制受信ボタン ← 押す ↓ ← 押す

受信表示ランプ ←点滅↑ ←点灯(受信を開始)

■電波受信機能の状態を確認するには強制受信ボタンを押します。

ON : 受信表示ランプが約3秒間点灯します。

OFF : 受信表示ランプは消灯したままです。

ご注意

※出荷時の設定は、電波受信機能「ON」です。

※電池を取り出しても、電波受信機能の設定は切り替わりません。 ※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

主な製品仕様

時間精度	標準電波の受信に成功した場合(受信直後) 表示精度 秒針±1秒 時計分針 目盛りに対して±3度以内 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20秒以内 (常温中のクォーツ精度)
自動受信回数	受信に成功している場合:1日1~3回 受信に失敗している場合:1日12回(最多)
使用温度範囲	-10~+50℃
使用電池	単3形マンガン乾電池 (JIS規格 R6P) 4本 内蔵電池 コインリチウム電池(CR2032) 1個
電池寿命	約2年間 内蔵電池 工場出荷より約5年以上(交換不要)
その他	標準電波による時刻修正・受信表示ランプによる受信の成功・失敗表示、電波サーチ機能、時刻のバックアップ、電波受信ON/OFF切り替え、明暗センサー、電池交換時期のお知らせ、スリープモニター

※付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池の寿命は、電波の受信に成功して7時間秒針が停止しているときのもです。 ※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

木ねじ	1個	単3形マンガン乾電池	4本
取付金具	1個	取扱説明書	本書
くぎ(取付金具用)	4本	保証書	1枚

CITIZEN.

電波時計 (掛時計) 取扱説明書

~ 製品の特長 ~ 標準電波を受信して正しい時刻に修正 滑らかなステップで秒を刻みます 電池の交換時期をお知らせします

ご購入ありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

CITIZEN はシチズン時計株式会社の登録商標です。
取扱説明書番号 M278-CXXZ

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品(電子回路、歯車等)は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、時計裏面等に表示している製品番号をお伝えください。

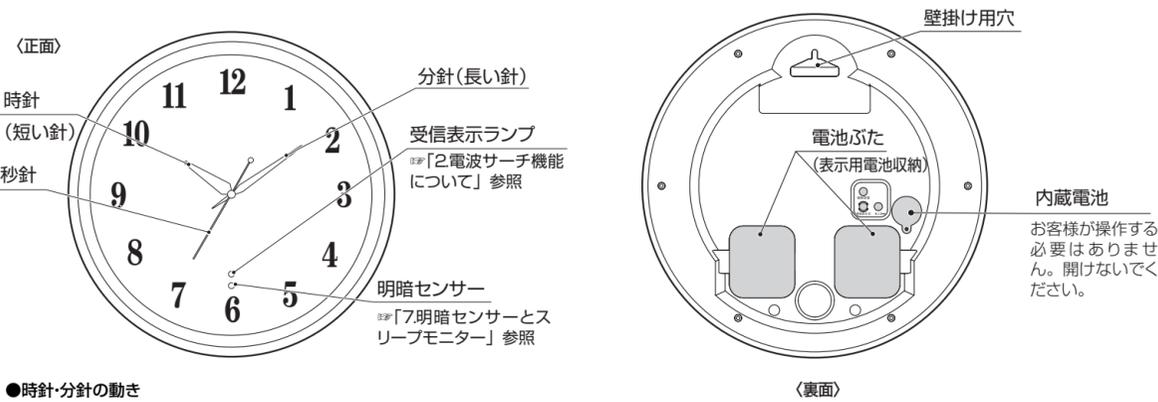
お問い合わせ先

■お客様相談室 フリーダイヤル ☎0120-557-005
受付時間 9:00~17:45
(土日、祝日および当社休日を除く)

発売元 リズム時計工業株式会社
本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

1. 電波を受信させて時刻を合わせます

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



- 時針・分針の動き
自動時刻修正: 早送りで順方向または逆方向に動きます。また、停止することがあります。
通常表示: 10秒単位に動きます。
- 秒針の動き
自動時刻修正: 早送りで順方向に動きます。また、12時位置に停止することがあります。
通常表示: 滑らかなステップで1秒単位に動きます。

1 電池ふたを取り外す

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて指定の電池を入れます。電池を交換するときには、指定の新しい電池にすべて交換してください。

注意 電池の向きを逆に入れると、発熱、破裂、液漏れなどの原因となり危険です。正しく入れてください。

3 強制受信ボタンを押す

電波を受信しやすい窓際やベランダなどで、強制受信ボタンを押してください。受信表示ランプが約3秒間点灯し、針が速く動いたり、逆転したりしながらおよそ3分間で内部の時刻を表示します。受信表示ランプが点灯していることを確認します。

- 受信中はボタン操作をしないでください。
- この時計には、電波サーチ機能が付いています。この機能により、時計を設置したい場所の電波状況を調べたり、電波状態のよりよい場所を探すことができます。詳しくは「2. 電波サーチ機能について」をお読みください。

4 電池ふたを取り付ける

電池ふたを差し込んで取り付けます。

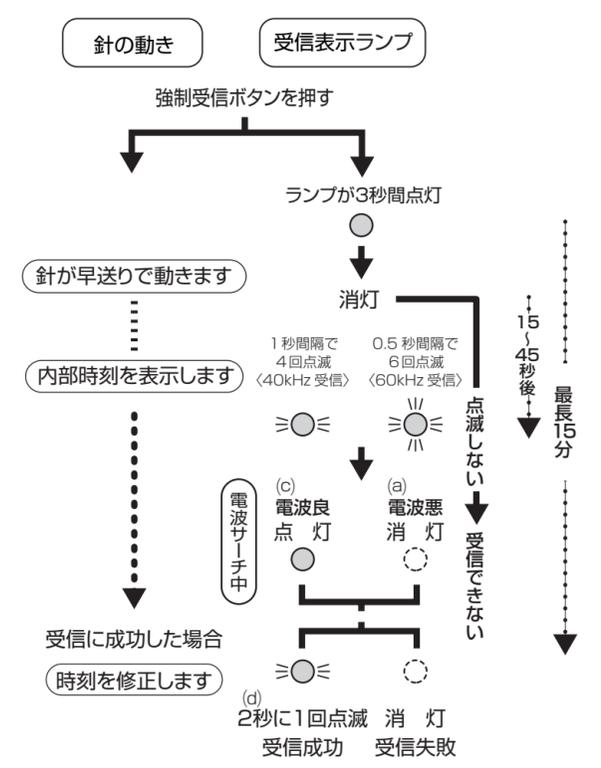
5 時計を掛ける

時計を掛けたい場所に移動し、受信表示ランプが点灯していることを確認して、「3. 時計の掛け方」に従い、時計を確実に掛けてください。

6 およそ15分後に受信結果を確認する

受信表示ランプの状態を確認します
受信成功：2秒に1回点滅→そのままお使いください。
受信失敗：消灯→「4. 電波を受信できない場合」へ
 ※受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。強制受信ボタンを押して再度受信させてください。

2. 電波サーチ機能について



4. 電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合、3通りの対処方法があります。

- 翌朝まで待つ**
一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、受信できるか翌朝まで様子を見ます。表示されている時刻が大きく違っている場合は、「5. 手動での時刻の合わせ方」に従い時刻合わせをして翌朝まで待ちます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。
- 時計を電波の受信しやすいところに移動して設置**
電波サーチ機能を使い受信しやすいところに設置してください。
- 時刻合わせをしてその場所で使用する**
ベランダなど屋外で、電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。
※電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示するおそれがありますので、電波を受信しやすいところでお使いになるか、電波受信機能を「OFF」にしてお使いになることをお勧めいたします。
※「5. 手動での時刻の合わせ方」を参照。
※「9. 電波受信機能のON/OFF操作」を参照。

受信表示ランプの点灯または消灯により、電波の状態をお知らせします。

- ①窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
- ②強制受信ボタンを押します。
受信表示ランプが約3秒間点灯後、針が動いたり、止まったりした後に時刻を刻み始めます。15〜45秒後に受信表示ランプが点滅し、その後点灯するまで待ちます。およそ1分以上待っても点灯しない場合は、時計の向きや場所を変えてから「強制受信ボタン」を押してください。
- ③受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
- ④受信表示ランプの表示で、電波の状態を確認します。
(電波サーチ中)
(a)消灯→電波を受信できません。
時計の向きや掛ける高さなどを変えてみてください。それでも点灯しない場合は、設置する場所を変えて、②からやり直してください。
(b)不規則な点滅や短い間隔での点滅→電波が弱いです。受信に失敗する可能性があります。
(c)点灯→良好な電波状態です。
(d)2秒に1回点滅→受信に成功。
※電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
※強制受信ボタンを押した後、電波のサーチをして、受信が完了するまでには、最長15分かかります。

5. 手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
 ※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作してください。
 ※手動で時刻合わせをしても、電波受信機能が「ON」のときは、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。
 ※手動で時刻合わせをすると時間精度はクォーツ精度になります。

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針・秒針が動き始めます。
 ○時刻合せボタンを押して、すぐに離れた場合は1分進みます
 ○時刻合せボタンを押した場合は、早送りで動きます。このとき、秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離れたときに動き出します。

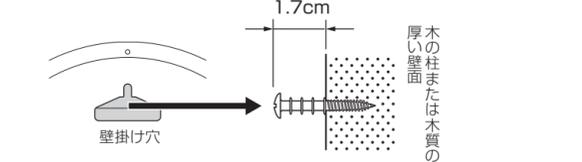
秒針の動きについて
 秒は、時刻合わせボタンを押している間、「0秒」に設定されています。秒針が早送りで動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動き、その後滑らかなステップで1秒単位に動きます。

3. 時計の掛け方

強制注意 時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。時計を掛ける面に適した壁掛け金具、ねじを選択してください。また、時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

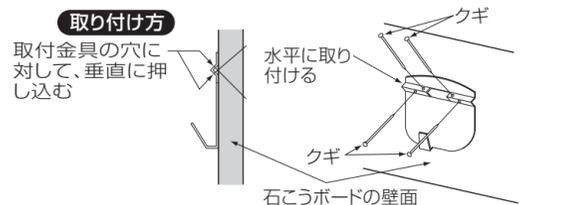
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

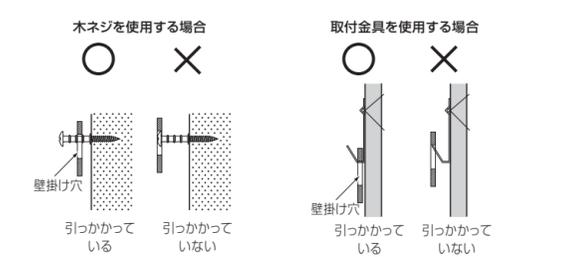
- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図の通り、付属のクギ4本で、しっかり固定してください。
- ※壁の材質、取り付け方を確認の上で使用ください。
- ※取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると、時計が傾いてしまいますので、注意してください。
- ※クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- ※取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。



その他の壁面の場合

- 上記以外の場所(コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

【確実に掛かっていることを確認】



6. 時刻のバックアップ機能

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻みつけています。また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。
 表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、内部の時刻に基づき、針がすばやく時刻を表示します。また、表示用電池が消耗したときや取り外したときは、内蔵電池に切り替わり時刻を刻み続けます。
 ※内蔵電池のみでは、針による時刻表示をしません。
 ※電波受信機能が「OFF」のときは、受信を行いません。
 ※表示用電池で時刻表示がされている場合は、内蔵電池を使いません。

7. 明暗センサーとスリープモニター

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止し、受信表示ランプが消灯します。センサーは、時計の周囲の明るさに反応しますので、昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足して、反応することがあります。
スリープモニターは明暗センサーの機能を確認するためのものです。秒針が55〜59秒の位置になったときに、スリープモニターボタンを押し、そのまま押し続けると12時位置になったときに秒針が停止します。ボタンを離すと秒針が現在時刻に早送りで移動します。

8. 電池交換時期のお知らせ機能

電池の交換時期になりますと、**明るいところでも秒針が12時位置で停止し、受信表示ランプを消灯します。**時針および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間[※]時刻を表示し続けますが、お早めに電池を交換してください。
 ※ご使用状態により、この期間は前後します。
 この時計はアルカリ乾電池の特性に合わせて設計されていますので、松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」を使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動作しない、電池の寿命が短くなるなどの不具合が生じることがあります。

